

(8) 底びき網主要対象種生態調査

予算

大阪府資源管理協議会委託事業

概要

府内の小型底びき網（石げた網）の重要漁獲対象種であり、近年不漁が続くシャコについて着底種シャコ分布調査を行った。採集個体数は1年を通して直近2年間よりも少なかった。2020年2月に採集個体数が少なかったことが5月以降の調査結果に反映されており、その後の新規加入の低迷にも繋がっていると考えられる。また、石げた網標本船の漁業日誌により、日別のシャコ漁獲量をモニタリングした。調査期間中は安定して漁獲されており、特に漁獲が減少する夏季にも漁獲がみられた。漁獲量がかなり低位であった昨年より好転したものの、依然として厳しい資源状況が続いていると考えられる。

調査方法

2020年5月に大阪湾全域に設けた20定点（図1 黒丸・白丸、調査時水深8.6～46.4m）で、2020年8月、11月、2021年2月には上記20定点のうち大阪湾東部海域の10定点（図1 白丸、調査時水深9.6～24.1m）で小型底びき網の一種である石げた網（幅1.8m）を使用し、シャコの採集を行った。石げた網には着底後間もないサイズ（体長約20mm）のシャコも採集できるように、魚獲り部（網の最後部）の網目の一片の長さが約6mmのカバーネットを装着した。各点の調査では2丁の石げた網を曳網し、曳網時にはハンディGPSで曳網距離を記録した。入網物は水産術センターに持ち帰り、シャコを選別した後、個体数の計数および体長の測定を行った。各定点の採集個体数は曳網距離から10,000m²あたりに換算した。また、石げた網標本船の漁業日誌データからシャコの日別漁獲量の変化を調査した。

調査結果

図2～3のとおり。

担当者

木村祐貴、山中智之

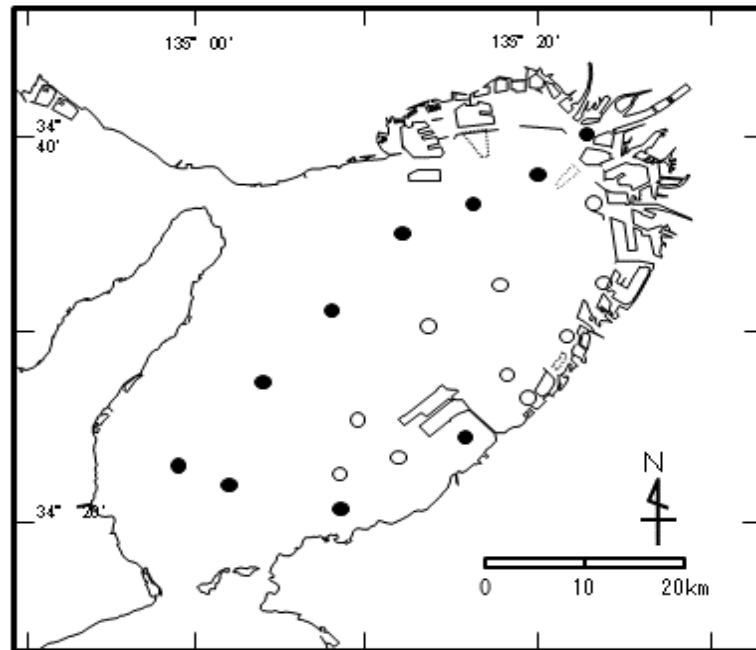


図1 調査定点図

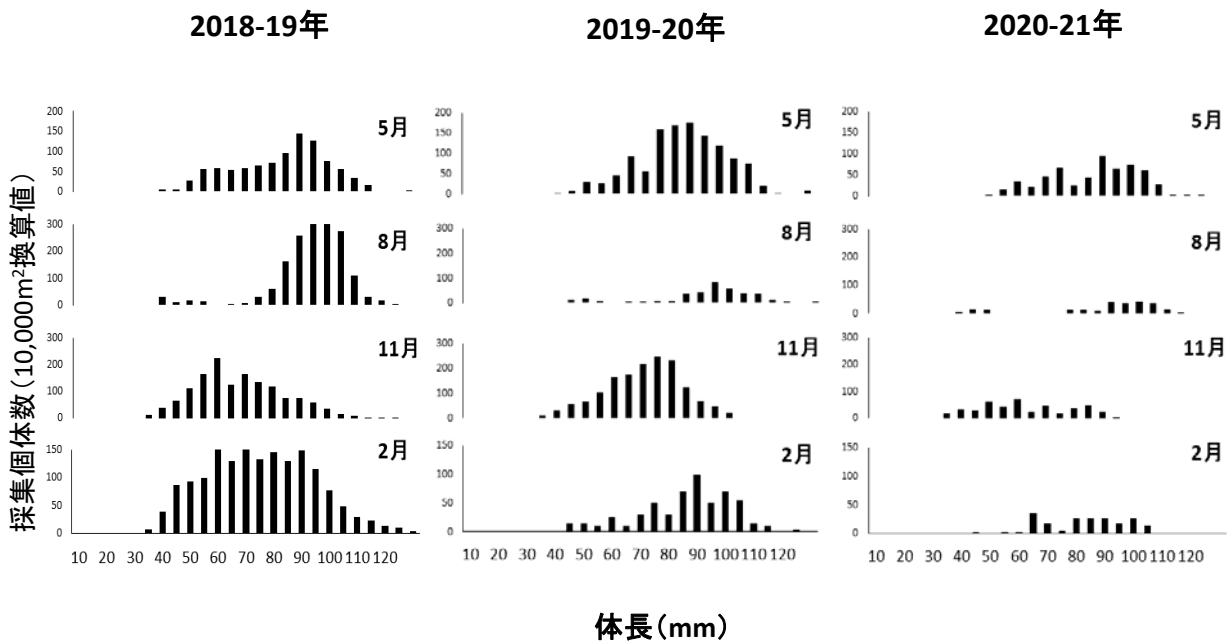


図2 分布調査で採集されたシャコの体長組成

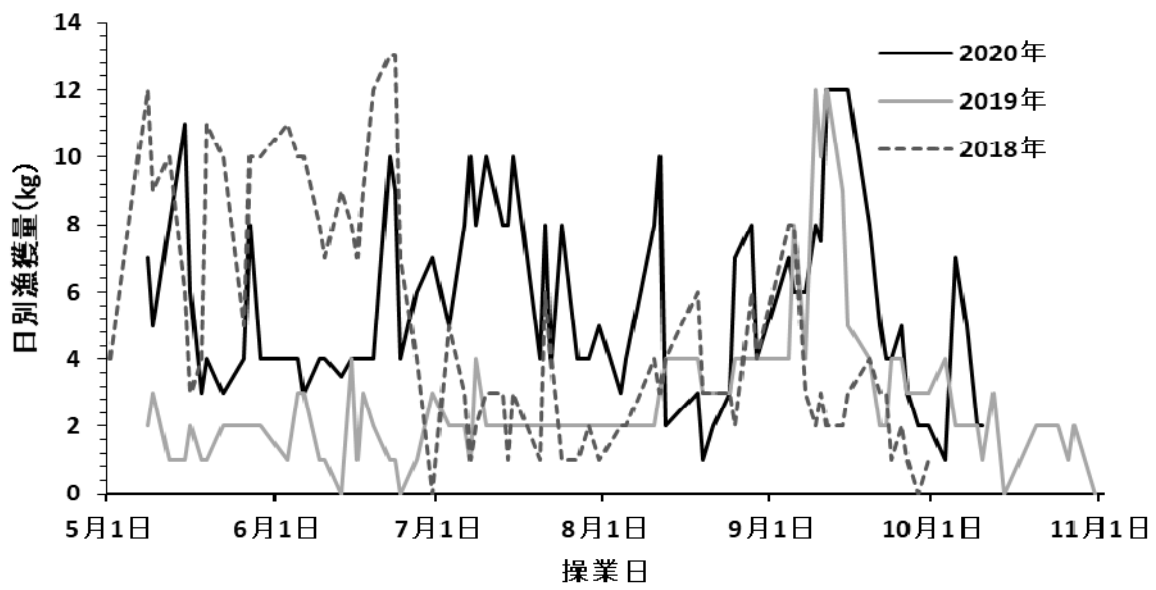


図3 石げた網標本船におけるシャコの日別漁獲量
(5月1日～10月31日)